

日本画の絵の具や金ばくなど、日本画材にふれるワークショップ

日本画で ^{ご ぶん} 胡粉をつかって

ひなまつり!

オブジェ

を作ろう

令和6年

2月24日(土) 13:30~15:30



日本画の画材のひとつ「胡粉(ごぶん)」。牡蠣やはまぐり、ほたてなどの貝殻からできた白い粉状の絵の具です。絵画だけでなく、お寺などの古い建物やひな人形のお顔をぬる時にも使われています。今回は、胡粉を使ってひなまつりに飾れる小さなオブジェを作ります。絵が苦手な人でも大丈夫、楽しく日本画の絵の具に触れてみましょう!

講師：美術作家 藤野裕美子 氏

参加費：800円(材料費)

定員：15名(申込先着順)

持ち物：汚れてもよい服装またはエプロンなど
作品を持ち帰るための袋

場所：てんびんの里文化学習センター
多目的研修室



美術作家

藤野裕美子

空き家などの取材をもとに、暮らしの痕や、人の手を離れたもののその後をテーマに、日本画材を用いて制作を行う。中路融人記念館で平成29年から毎年日本画材を用いたワークショップを開催。

2013年 京都精華大学 大学院芸術研究科 博士課程前期 日本画専攻 修了
2021年 滋賀県立美術館 リニューアルオープン記念展「Soft Territory」、瀬戸内国際芸術祭 2022 などに出品。令和3年 滋賀県文化賞次世代文化賞受賞。

【お申込み・お問合せ】

東近江市近江商人博物館・中路融人記念館

〒529-1421 東近江市五箇荘竜田町 583(てんびんの里文化学習センター内)

Tel 0748-48-7101 Fax 0748-48-7105 IP 050-5802-3134 ※休館日:月曜日、祝日の翌日